

# TOTO

## 埋込部

オーバーヘッドシャワーの埋込部を施工する場合は、取付金具を必ず使用し、この説明書の内容に沿って施工してください。

TBNO1002型

(本説明書は、オーバーヘッドシャワーの埋込部として使用する場合の施工説明書です。)



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。





### 1






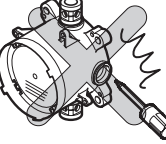
## 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)



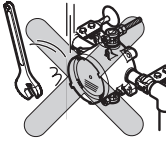
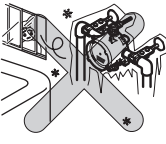

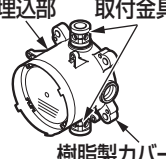
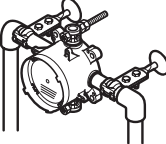

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	<b>警告</b> この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b> この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

		は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
		は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

 <b>警告</b>		
	<b>給水、給湯配管を埋込部に直接、配管しない</b> やけどをしたり、水が止まらないため、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	<b>シャワーには熱湯(60℃より高温)を通さない</b> シャワーヘッドが破損して、やけど・けがをするおそれがあります。シャワーを浴びる場合は、安全のため、45℃以下の適温でご使用ください。	
	<b>この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない</b> 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

 <b>注意</b>		
	<b>強い力や衝撃を与えない</b> 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	<b>凍結が予想される場所に設置しない</b> 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	<b>埋込部の固定には取付金具を使用し、埋込部の上下接続口は、取付金具で密閉する</b> <b>埋込部の樹脂製カバーを取付面に固定しない</b> オーバーヘッドシャワーが外れて、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	埋込部 取付金具  樹脂製カバー
	<b>埋込部は、必ず強度のある取付面・建築構造体に、取付金具と適切な埋込部固定ねじで取り付ける</b> 土壁・石膏ボード壁などの強度のない取付面に埋込部を固定すると、オーバーヘッドシャワーが外れたり、取付面が壊れたりして、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	<b>埋込部の樹脂製カバーと壁のすき間はシリコン塗布、防水シートにより確実に防水処理すること</b> 水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	シリコン 樹脂製カバー  防水シート

## 2 仕様

使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	1~40℃
用途	パブリックおよび一般住宅浴室用

その他の仕様については組み合わせるオーバーヘッドシャワーの仕様をご確認ください。

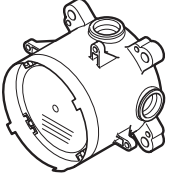
## 3 取り付け前に

- やけど防止のため、給湯機の給湯温度は60℃を越えない設定をしてください。  
快適な吐水温度を確保するために50~60℃設定をおすすめします。
- 埋込部は梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- 埋込部を取り付ける取付面に十分な強度があることを確認してください。取付面に十分な厚み、補強がない場合には、30mm以上の補強木で壁を補強してください。
- 埋込部の固定強度は、オーバーヘッドシャワーの荷重（約6kg）に十分に耐えうる強度を確保してください。

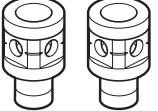
## 4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。


**埋込部**



埋込部



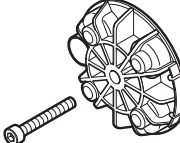
取付金具 (2個)



施工説明書

**注意**

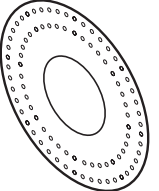
以下は取り付けに必要です。捨てないでください。



洗浄ふた

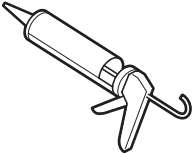


養生カバー

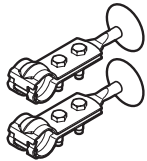


防水シート

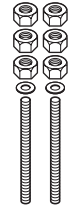
市販品（現場調達：現場状況にあわせて適切な市販品を手配してください。）



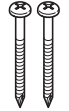
シリコーン



配管支持金具




または



(アンカーボルト)  
(2本)                      (木ねじ)  
(2本)



配管材料



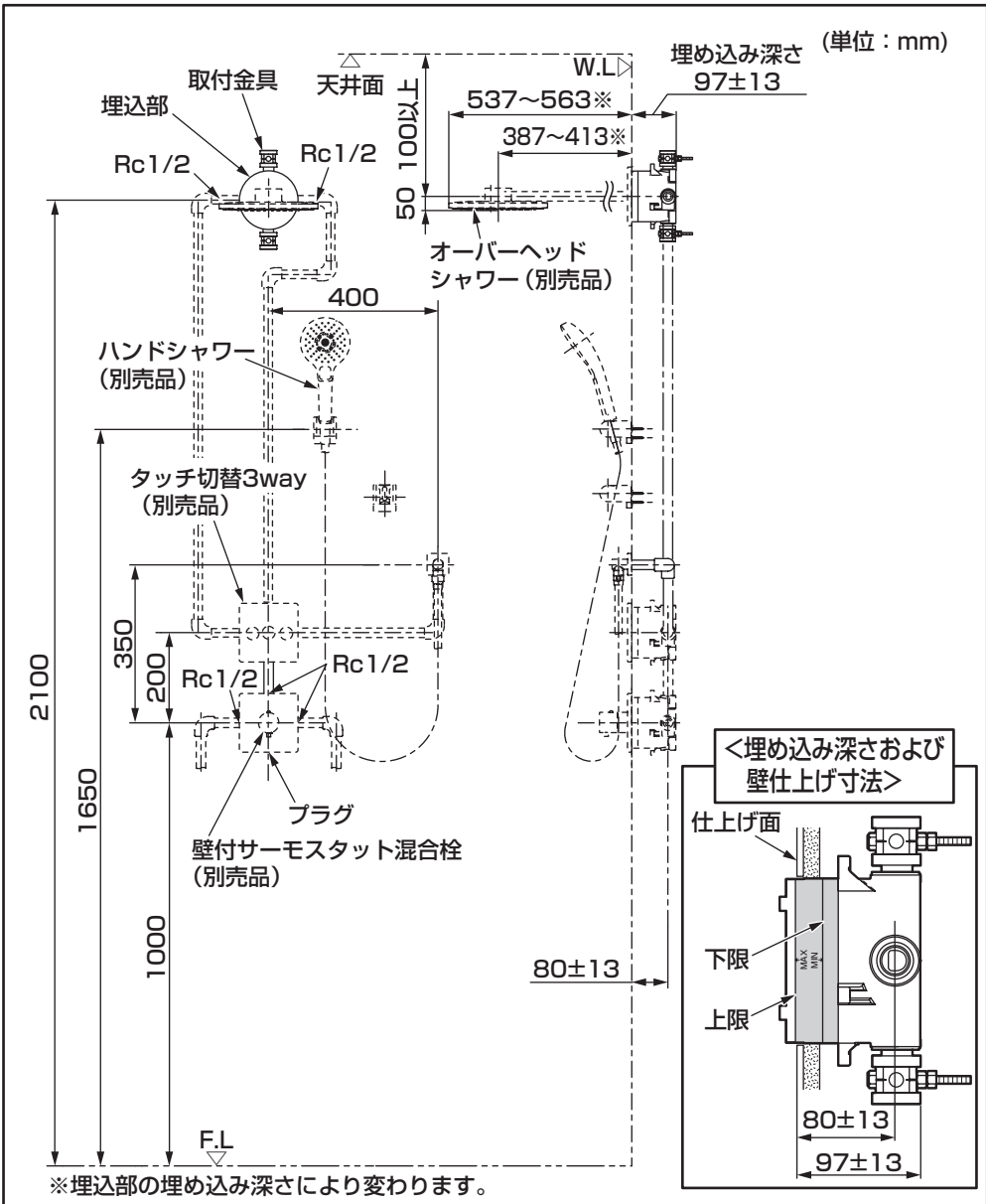
浴室用接着剤

埋込部固定ねじ  
(φ6からφ9相当)

※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

# 5 完成図 (セット例)

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



# 6-1 施工手順

## 1 取付金具と埋込部の接続

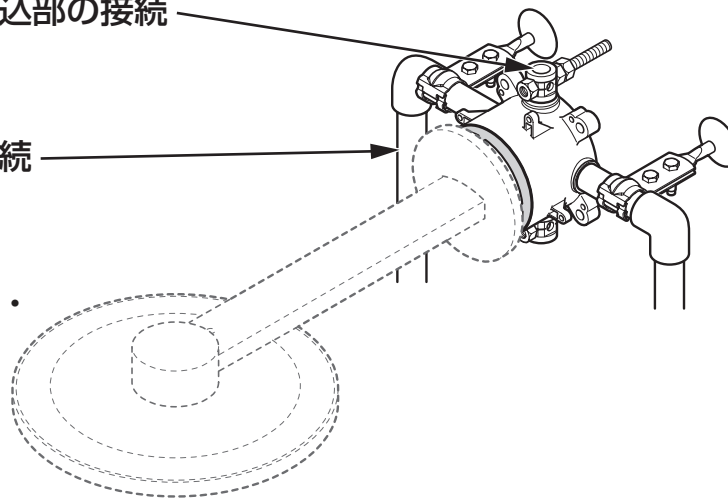
## 2 位置決め

## 3 配管部材の接続

## 4 埋込部の固定

## 5 水漏れの確認・配管内の清掃

## 6 防水処理・壁の仕上げ

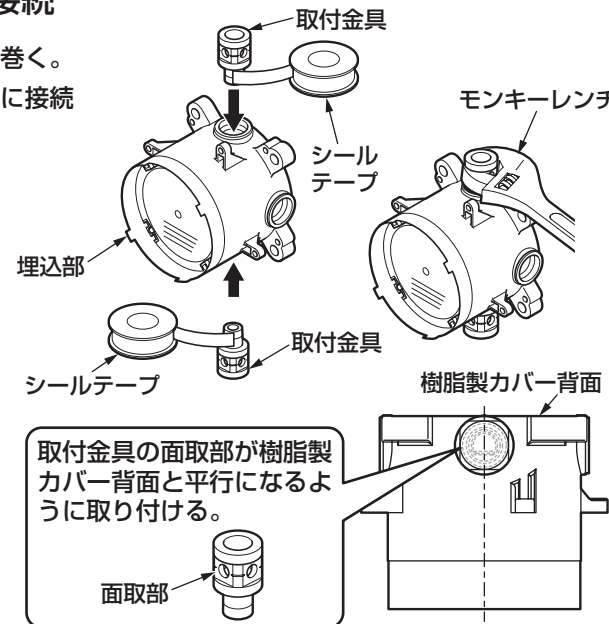


## 1 取付金具と埋込部の接続

- ①取付金具にシールテープを巻く。
- ②取付金具を埋込部の接続口に接続する。(対称位置2カ所)

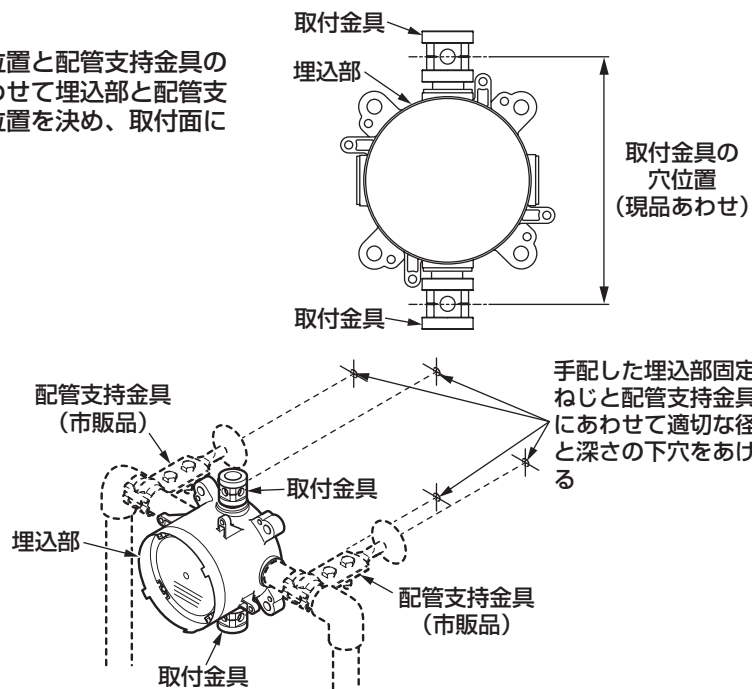
### 注意

取付金具は埋込部にガタツキ、ゆるみがないよう、確実に接続してください。取付金具が確実に接続されていない場合、オーバーヘッドシャワーが外れたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



## 2 位置決め

取付金具の穴位置と配管支持金具の取付位置にあわせて埋込部と配管支持金具の下穴位置を決め、取付面に下穴をあける。

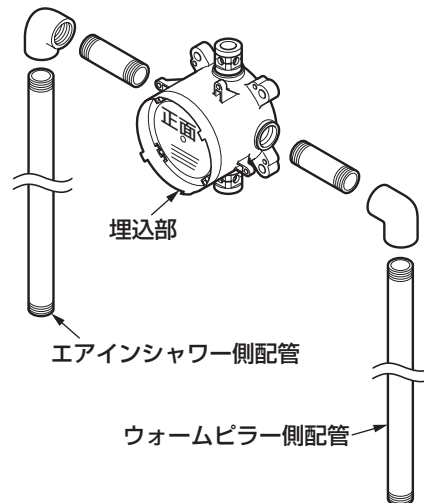


## 3 配管部材の接続

埋込部の正面に向かって左側がエアインシャワー側配管、右側がウォームピラー側配管となるよう、埋込部に配管部材を接続する。

### 注意

接続箇所には、必ず配管用シール材を使用してください。



## 4-1 埋込部の固定

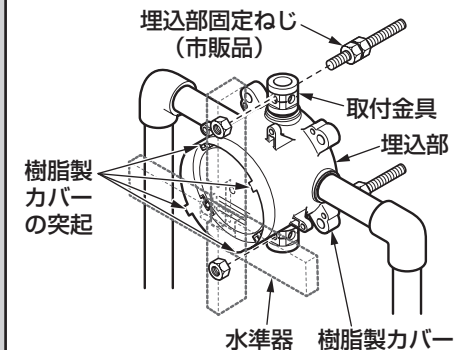
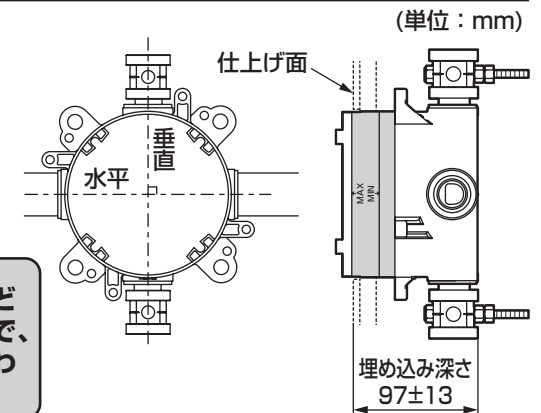
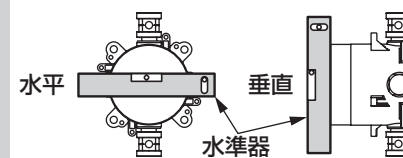
①埋込部を壁仕上げ面からの埋め込み深さ $97\pm 13$ 、水平、垂直になるように調整し、取付金具と埋込部固定ねじ(市販品)で、埋込部を取付面に固定する。

### 注意

仕上げ範囲を超えるとプレートなどの正常な取り付けができませんので、壁仕上げについては十分に打ち合わせしておいてください。

### 注意

- 埋込部の固定は必ず、取付金具と埋込部固定ねじ(市販品)で、取付面に固定してください。
- 樹脂製カバーを壁に固定しないでください。
- 埋込部は十分な強度を持った取付面に、適切な埋込部固定ねじで確実に固定してください。
- 埋込部の固定強度は、オーバーヘッドシャワーの荷重(約6kg)に十分に耐えうる強度を確保してください。
- 必ず、水準器を使用して、上下、左右が垂直、水平になるよう取り付けてください。水準器は埋込部の樹脂製カバーの突起に当てて使用してください。

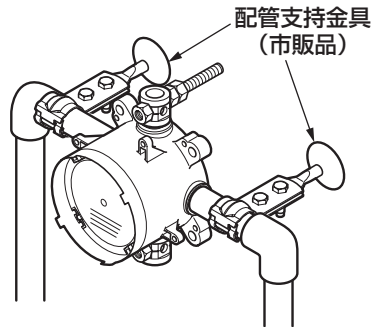


## 4-2 埋込部の固定(つづき)

- ②配管支持金具(市販品)を使用して、壁仕上げ面と埋込部が平行になるように配管を固定する。

## 注意

- オーバーヘッドシャワーがガタつかないよう、十分な強度を持った取付面に配管を確実に固定してください。
- 配管と埋込部のねじ接続部に負荷が加わらないように配管を固定してください。



## 5 水漏れの確認・配管内の清掃

- ①養生カバーを外し、洗浄ふた固定ねじを緩め、通水して、配管内の空気抜きを行う。

## 注意

養生カバーは捨てないでください。配管内の清掃後、埋込部に挿入してください。

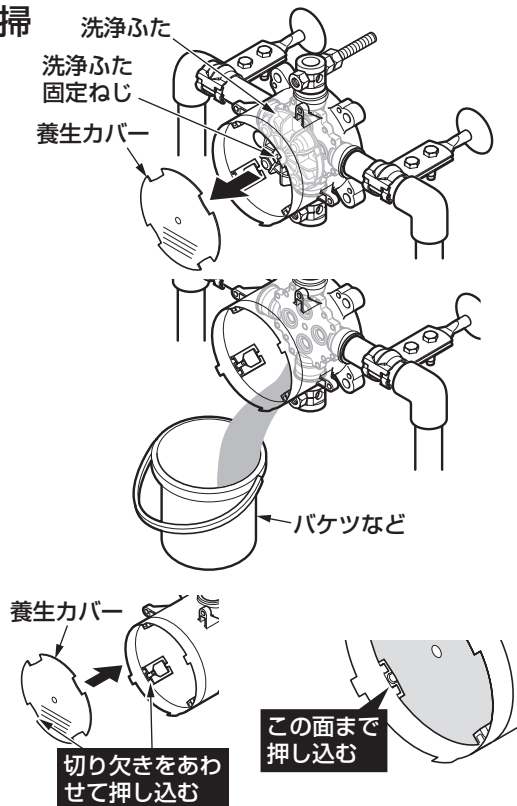
- ②通水した状態から洗浄ふた固定ねじを止水するまで締め込み、接続部分からの水漏れがないことを確認する。確認後バルブを閉める。

- ③洗浄ふたを取り外し、埋込部に通水して、配管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

## 注意

洗浄ふたは捨てないでください。配管内の清掃後、埋込部に挿入してください。

- ④洗浄ふた、養生カバーを埋込部に取り付ける。



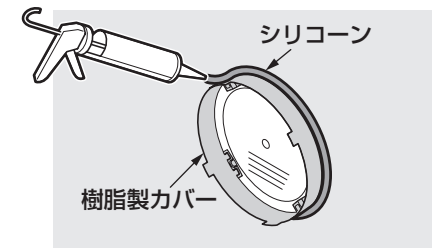
## 6-1 防水処理・壁の仕上げ

建築工事について、他業者様が実施する場合は、以下項目について、申し送りをしてください。

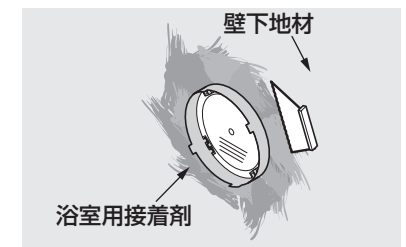
- ①埋込部の水平垂直、埋込部、配管にガタツキがないことを確認後、必要に応じてモルタルなどで埋込部周辺を埋める。

## 注意

- 養生カバーの内側にモルタルなどが入り込まないように注意してください。
- 各配管は配管支持金具などを用いて十分に固定し、シャワーヘッドが動かないようにしてください。

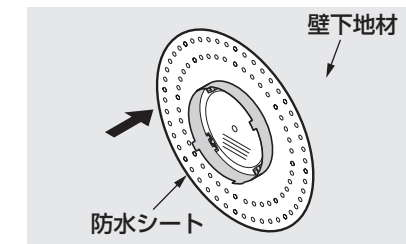


- ②埋込部樹脂製カバー周囲の壁とのすき間に、シリコンを塗布し防水処理を行う。



- ③浴室用接着剤を壁下地材に塗布する。

- ④防水シートを埋込部にかぶせ、壁下地材に接着する。



## 注意

防水シートは切らずに使用してください。

## 6-2 防水処理・壁の仕上げ(つづき)

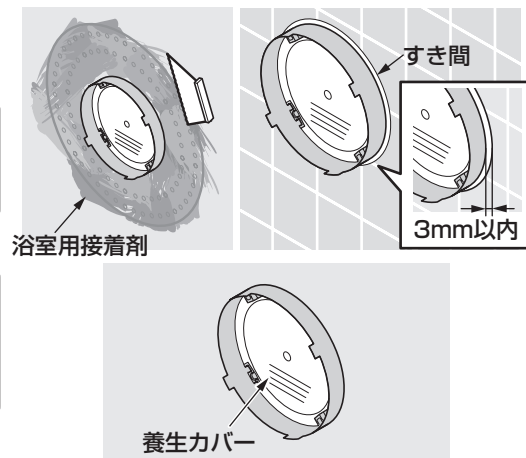
- ⑤浴室用接着剤を防水シートに塗布し、壁を仕上げる。

**注意**

仕上げ壁と埋込部のすき間は3mm以内になるように仕上げてください。

**注意**

養生カバー、洗淨ふたはオーバーヘッドシャワーを取り付ける時までかぶせたままにしておいてください。

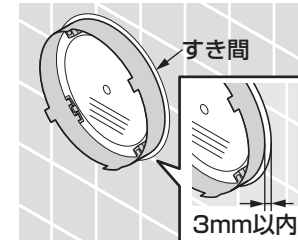


## 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

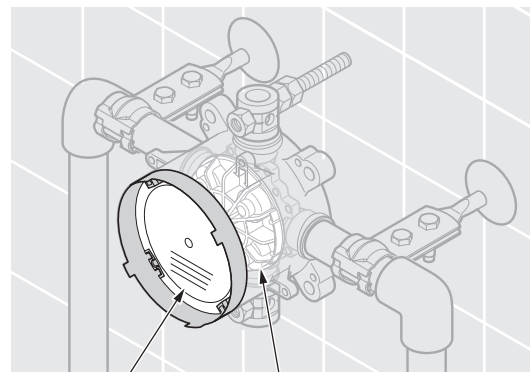
## 壁の仕上げ

- ③ 仕上げ壁と埋込部のすき間は3mm以内になっていますか？



↳ 6-3 - 6

「防水処理・壁の仕上げ」参照



- ⑤ 養生カバー ④ 洗淨ふた

## 埋込部の取り付け

- ① 埋込部、配管にガタツキはないですか？

↳ 6-2 - 4

「埋込部の固定」参照

- ② 埋込部は水平、垂直に取り付けられていますか？

↳ 6-2 - 4

「埋込部の固定」参照

## 埋込部の養生

- ④ 洗淨ふたは取り付けられていますか？

↳ 6-3 - 5

「水漏れの確認・配管内の清掃」参照

- ⑤ 養生カバーは取り付けられていますか？

↳ 6-3 - 5

「水漏れの確認・配管内の清掃」参照